

令和6年度 経済港湾委員会 行政視察先（案）

No.	視察項目	視察先	視察内容
1	商店街の活性化の取組について	名古屋市 (大須商店街)	エリア内に約1,200の店舗や施設があり、年間を通してイベントやまつりが開催され、平日で3万人、休日で7万人が訪れている。かつてのシャッター商店街から「日本一元気な商店街」となった大須商店街を視察し、本市の商店街活性化の取組に向けた参考とする。
2	アニメ・デジタルコンテンツ産業の推進について	新潟市 (新潟市役所、マンガ・アニメ情報館)	マンガ・アニメを市の文化施策の主要な柱に位置づけ、地域産業の活性化にも結実させる「マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」推進している新潟市を視察し、本市のアニメ等デジタルコンテンツ関連の産業振興や雇用の創出等に向けた参考とする。
3	物流拠点化の推進について	東京都大田区 (羽田クロノゲート)	ヤマトグループが提供する物流サービスに、修理・組み立て、洗浄、3Dプリントなど様々なサービスを組み合わせ、新たな付加価値を提供する国内最大級の物流施設「羽田クロノゲート」を視察することにより、本市の物流拠点化の推進に向けた参考とする。
4	物流拠点化の推進について	千葉県 (成田空港周辺地域)	千葉県では、地域未来投資促進法を弾力的に活用し、成田空港周辺の9市町村を「成田新産業特別促進区域」として、農地の物流関連用地への転用などにより、物流拠点化を促進している。本市の空港等を活用した物流拠点化に向けた取組のさんこうとする。

5	スタートアップの支援について	つくばスタートアップパーク及び つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム	<p>本市のスタートアップ支援の取組に向けた参考とするため、下記の施設を視察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つくばスタートアップパーク 筑波研究学園都市で研究開発された技術等を基にした「ディープテック・スタートアップ」を創出するため、インキュベーション施設の設置や実証実験支援、起業家や学生等の交流を促進するイベント等に取り組んでいる。 ●つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム 持続的なディープテック・スタートアップ創出を目的として、行政、大学、研究機関等が中心となって設立。20年後、30年後の世界を見据え、研究機関の技術シーズをどのように事業化し成長させていくかを議論している。
6	スタートアップの支援について（ものづくり企業との融合）	浜松市	<p>ものづくり企業の集積地として、外部のスタートアップ誘致や地域内スタートアップの創出によりスタートアップを集積させ、ものづくり産業とのオープンイノベーションを推進することで、新たな製品・技術・産業を創出し、さらに基幹産業となるような産業を生み出すこと（浜松バレー構想）を目指す取組を実施している。</p> <p>ものづくりの町である本市のスタートアップ支援・ものづくり産業の活性化に向けた参考とする。</p>
7	公営競技における地域への貢献について	前橋市 （グリーンドーム前橋（前橋競輪））	<p>国内3か所のドーム型競輪場の一つで、競輪以外にも、eスポーツや地域住民を対象としたイベント等、多目的に活用されている。</p> <p>今後の本市のメディアドームを活用した地域貢献に向けた取組の参考とする。</p>

8	公営競技における地域への貢献について	大村市 (ボートレース大村)	<p>2022年11月にコミュニティパークグルーンを開設し、子供の遊び場モーヴィのほか、県内最大規模のスケートボードパークや、カルチャー教室など様々な用途に活用できるパークセンターも設立している。</p> <p>今後の本市のボートレースパーク化による地域貢献に向けた取組の参考とする。</p>
9	洋上風力発電の取組について	長崎県五島市	<p>2016年に国内初となる浮体式洋上風力発電設備を実用化し、商用運転を継続しているほか、2022年には再エネ海域利用法に基づき建設する洋上風力発電として、国内で初めて公募占用計画の認定を受けている。</p> <p>今後の本市の洋上風力発電の取組に関する参考とする。</p>